

東陵中学校の ESD 活動

<活動の概要>

- ・当校は、「誇りをもち、夢に向かって凛として生きる生徒の育成」を活動テーマとしている。ESD においては「自分を取り巻く社会において、持続可能な社会を実現できる価値観の育成」と捉えている。目標は、ESD の実践を通して「自他を尊重し、協力して生きる力」の育成である。
- ・具体的には、持続可能な社会の実現のための価値観を柱に、①食品ロスにかかわる活動、②SDGs にかかわる活動、を行っている。

夏季は猛暑が続き、熱中症対策として室内の冷房と飲水が推奨されている。冬季は感染症対策として、室内を温め、湿度を保ちつつ、換気も実施しなければならない状況である。加えて、同じ教室で過ごしているのであるが、人によって、また教室の席位置によって、室温への感じ方に差が生じる。学校生活は、空調機の省エネルギーと、感染症および熱中症への対策と、室温の感じ方の個人差など、持続可能な社会の実現ための実践の場である。

・活動の実際

① 食品ロスに係わる活動（全校）

本校では、給食委員を中心として、給食の食品ロスを減らすための取り組みをしている。生徒には食材、生産者の方、調理師の方への感謝の気持ちをもたせている。また、食品アレルギーの正しい理解とともに、継続的な食育指導によって、個人における適切な給食の必要量を考慮したうえで、無駄になる食材の量を少なくしようと取り組んでいる。

東陵中学校は、クラスの枠を超えて各学年全体で食品ロスに協力しやすい施設環境であるため、伝統的な活動になっている。

② SDGs を知ろう（3年生）

3年生の総合的な学習の時間において、日本の社会問題とともに世界の様々な問題に目を向けた学習を目ざしている。そのため、SDGs における 17 の目標から調べたい目標をひとつ選ばせ、その社会問題の背景や原因をインターネットや本で調べさせている。調べ学習を進める中で、SDGs の目標は自分の身近なできごとにも関連していることに気づかせて、目標を達成するために、当事者としてできることを考えさせ、実践を試みさせている。

自分ができることを積極的に取り組んでいくとともに、実践の内容を友達及び家族にも広め、自分にかかわる環境を変えていく姿を期待している。

③ 福祉について（1年生）

1年生は、「Be a hero!～自分のために、みんなのために～」というテーマのもと、福祉について学習した。「みんなが幸せになれるように取り組む活動や仕組み」の「みんな」という言葉について考えた。そこから、自分たちの身のまわりにはさまざまな人たちが暮らしていることを知り、その中から体が不自由な方やお年寄りについて焦点をあて、調べ学習を行った。また、車椅子や盲人ガイド、高齢者疑似体験などの体験活動を行い、体の不自由な方やお年寄りの気持ちになって考えることができた。これからも、自分たちの身のまわりで暮らすさまざまな人たちに目を向け、寄り添って生活をしていける大人へと成長してほしいと願っている。